

会 議 録

会議の名称	西東京市地域情報化計画策定審議会（第7回）
開催日時	平成20年4月15日 午後2時00分から5時45分まで
開催場所	市立芝久保小学校，N T T 武蔵野研究開発センタ
出席者	(委員) 三宅会長、饗場委員、石田委員、片瀬委員、尾藤委員、吉井委員 (事務局) 尾崎企画部長、坂本情報推進課長、保谷情報推進課長補佐、海老澤主任、西川主事
説明員	芝久保小学校 小此木校長 教育指導課教育情報センター 高田センター長 教育指導課教育情報センター 佐野主任
議 題	(1) 芝久保小学校及びN T T 武蔵野研究開発センタの視察について (2) その他
会議資料の名称	なし
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>1 芝久保小学校及びN T T 武蔵野研究開発センタの視察について</p> <p>事務局(保谷情報推進課長補佐)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 事務局より報告 - 本日欠席の委員は渡邊副会長と福田委員です。 - 芝久保小学校4年1組で6時間目「社会科」の授業参観 - - 「ICTを活用した楽しい学習活動」についての研究発表 - <p>小此木校長</p> <p>数年前から子どもの下校中の大変痛ましい事故が起きたことを受け、東京学芸大学が近隣5市を集めて会議を開催しました。本校は市境にあり、隣接市の学校の保護者は本校の保護者と情報を交換しているようです。東京学芸大学は、インターネットに各市の情報をアップし、保護者が見られるようなシステムを作ろうと文部科学省の委託を受け、システムを構築し、いろいろ検証しました。そこに参加させていただいた結果、安全情報を共有化することが大切であることがわかりました。学校の基本は紙ベースで安全情報を流すことです。ところが、夏休み中の不審者情報をどう流すかということが問題になりました。この問題に対し、本校ではホームページに情報を掲載することを考えました。お配りした資料の最終ページに掲載してあります。長期休業中だけホームページに載せることとしております。また、子どもの下校経路を把握しておく必要があるため、資料の3ページ目に載せてあるように通学路を調査してエクセルでデータ化しました。さらに、4ページに掲載されているように、携帯電話の一斉メール配信が利用できないかということも考えました。現在日中お仕事をされている保護者の方も多いので緊急連絡が伝わらないことがあり、緊急連絡をメール配信で実施しようと考え進めております。こういうことを学校として取り組み、安全で安心な暮らしのできるまちづくりを目指し、ささやかながら実施しているところで</p>	

三宅会長

今、ご説明いただいたことで、ホームページを使って情報を流すということがありましたが、大変有効だと思います。ただ、この種のことは最近、個人情報保護の関係の運用のガイドラインで問題が出てくるとは思いますが、個人情報をどこまでの範囲で出すのかについてもご研究されているのでしょうか。

小此木校長

保護者には次のように文書でお知らせしています。学校だより、学級通信、保健だよりなど学校が直接児童に手渡しする印刷物については個人名や写真を載せません。そして、各家庭で個人情報が漏れないような処理方法をお願いします。ホームページに関しては、名前や写真など個人が特定できるものについては載せません。その他の場合は原則個人情報は載せません。ただ、どうしても個人情報を載せる必要がある場合は、保護者の同意をいただきます。質問やご異議のある方はご連絡くださいと言っていますが、特に保護者の方から質問はありません。

三宅会長

例えば、このホームページを保護者の方だけがアクセス可能にすることは考えてはいないのでしょうか。

小此木校長

パスワードをお渡しして関係者だけ見られるようにすることは可能です。しかし個人を特定できるような情報はホームページに載せていないので、特に関係者限定にしようとは考えておりません。

片瀬委員

先ほど見させていただいた4年1組の社会科の授業の中では、ノートパソコンとは別にプリンタとプロジェクタをワゴンに乗せていましたが、例えばどこかに一式をストックしておいて、授業で使用する場合に先生が教室に運ぶことになっているのでしょうか。基本的に先生が個人で専用のノートパソコンを教材研究や学校の中の事務的なことを含めて使用しているのでしょうか。

小此木校長

普通教室で使用する場合は、教材室に置いてあるワゴン一式を必要な時に持って来て使うことになっています。基本的には授業の時だけ使うパソコンですので、教材室に置いてあるノートパソコンで事務的な作業をすることはありません。先生方が事務で使うパソコンは職員室にあり、インターネットに繋がるものもあるので、教材作成等に使用していません。

片瀬委員

3・4年前くらいにドイツの学校で、授業を拝見させていただいたのですが、ノートパソコンとプロジェクタとプリンタがうまくコンパクトにワゴンに載っていて、必要な時に普通教室で授業をする場合には運んで行くという方式を行っていました。真っ白な壁の部分が黒板の脇にあってそこに投影されていたことを思い出しました。一般企業ですと、一人一台個人専用のネットワークに繋がったパソコンで固有のメールアドレスが付与されていることが情報化の必須条件であり、これによって情報共有やコミュニケーションがかなり効率化されて良くなるというように10年以上前から言われ続けてきています。教員室の机の上にパソコンがなかったものですから、先生が個人で使っているパソコンをそのまま教室に持って行って授業で使っているのかと思いました。そういう学校もあるものですか

ら、気になって聞いてみました。

小此木校長

職員室の各先生方の机の上にはセキュリティの問題があって、パソコンは置いてありません。職員室でパソコンを使用するときはパソコンのあるデスクまで行って作業をしています。先生方一人一人のノートパソコンとメールアドレスがあるとよいと思います。

片瀬委員

授業の中で活用されるのは素晴らしいと思いますが、それと同時に学校経営の中でもITを活かしていただきたいと思います。情報化によって事務処理が連絡の効率化を図り、教材研究等に先生方が集中できるような環境作りという点でも、学校の情報環境の整備はと手も大事だと思います。授業で大変工夫されてパソコンを活用していらっしゃる先生方もみられます。もっと活用の幅を広げていただきたいと思います。

石田委員

「ICTを活用した楽しい情報学習活動」という発表をお聞きしましたが、低学年でも調べ方学習を行っていらっしゃるのでは大変ではないかと思えます。初めてパソコンに触れるお子さんも多くいると思いますので、パソコンのトラブルも授業の中では起こるのではないかと思います。そのときの対処の仕方をどうしていらっしゃるのでしょうか。

小此木校長

トラブルで多いのはプリンタの紙詰まりです。そういうときは情報教育専門員を配置していますので、その方に対応してもらいます。いない場合は、詳しい先生に対応してもらっています。その他のトラブルについては、教育情報センターに連絡し見てもらっています。

石田委員

低学年の児童には、自由にキーボードを触らせてはいないのでしょうか。

小此木校長

キーボードをどうするか、入力をどうするかということがよく問題になります。ホームページへのリンクボタンを作っておいて、クリックするだけという方法もあります。ソフトウエアキーボードを使ってひらがなを入力することも行っています。スキルに差がありまして一年生でも大人と同じようにキーボードを使いこなす児童もいます。

石田委員

キーボードの故障はありませんか？

小此木校長

キーボードの故障はほとんどありません。たまに、本体が不調でハードディスクが壊れているのかもしれないということがあります。

石田委員

今、Windows Vistaですか？Windows XPですか？

小此木校長

Windows XPを使用しています。

石田委員

Windows XPで故障があまりないというのはすごいですね。

小此木校長生

昔から比べると安定していますね。ネットワークも回線が早くなりましたので、安定面とスピードでは満足しています。

三宅会長

スキルの差が出てくるものだと思いますが、Webの中でもブロックされている画像や問題になるのが書き込みサイト、メールでは中傷誹謗などのネガティブな面、してはいけないことを教えるチャンスはあるのでしょうか。中学校、高校はそういった内容を授業の中で実施しているところもあるようです。先ほどの校長先生のおっしゃったように、簡単にいろいろできる児童が多く出てくるようであれば、高学年からでも教えておかないといけないような気がします。

小此木校長

学校でパソコン使用に関するアンケート調査を実施したことがあります。携帯電話を持っている児童がかなりいることがわかりました。裏サイトという問題もありますので、教育情報センターから職員を派遣していただき校内で情報モラルの研修会を行いました。学校では不審者に対して身を守る方法などを教えるセーフティ教室を実施していますが、今年は5・6年生を対象にインターネット上での危険なこと、誹謗中傷の禁止など情報モラルに関する指導を実施する予定です。保護者にも関心を持ってもらいたいと思います。

三宅会長

実際に研修をされる講師の方は、どんな方なのでしょう。

片瀬委員

e-ネットキャラバンではないのでしょうか。

小此木校長

はい。そうです。保護者の方は子どものメール内容を把握していないということを聞きました。保護者の方にもネット社会の危険性について考えてもらわないといけないと思います。

石田委員

「西東京の教育」を読みましたが、セーフティ教室を保谷第一小学校で実施したことが載っていたのですが、そのようなことを実施するというのでしょうか。

小此木校長

そうですね。中学校でもセーフティ教室の内容として、情報モラルに関することで平成19年度に実施しています。

石田委員

家庭でのパソコンの保有率が8割以上ということで、携帯電話も高学年になるとかなり高い保有率でしょうね。そういうことは学校では把握していないのでしょうか。

小此木校長

調査のやり方にもよりますが、調査をすると、それがきっかけとなって買って欲しいと子どもが言い出す恐れがあります。保護者の方も悩んでいらっしゃるようです。学校としてどこまで把握していいのか迷っているところです。学校全体で携帯電話の保有率を調べ

ることはしておりません。

石田委員

家庭のパソコン保有率が8割あると言っても家庭に1、2台で、個人で保有しているパソコンはというと、少ないと思われます。携帯電話はかなりの子が持っているのではないのでしょうか。

小此木校長

上手な調査方法があればいいのですが、携帯電話を持っていない子が持っていることに引け目を感じてしまうのではないかという懸念がありまして、調べづらいですね。

尾藤委員

安全情報提供についてお伺いしますが、これは特定の保護者の方が提供してくるものなのでしょうか。

小此木校長

自分のお子さんが不審者を見かけたという親から、情報が提供されることがほとんどです。何かあればすぐに学校に連絡がきます。本校でも情報提供を実施した最初の年はかなり不審者情報が来ました。しかし防犯パトロールや防犯ポスターを作ったことで不審者が減り、地域で防犯に対する意識が高まると、目に見えるように効果が現れることを実感しました。

片瀬委員

地域にお住まいの方からの情報提供があったり、安全を守る仕組みがもっと広がっていくとすばらしいですね。

小此木校長

そうですね。近くに私立の幼稚園がありますので、そちらにも情報提供しますし、逆に幼稚園からも情報提供があります。双方向でいろいろな情報提供をするようにもなりました。

吉井委員

学校のインターネット接続環境についてですが、各教室でもインターネットに繋がられるような環境が整備されているようですが、西東京市の小中学校全校で整備されたということでもよろしいでしょうか。

佐野主任

平成19年度で工事は全て終了しております。

吉井委員

東京都全体を見ると数年前まで学校でのインターネット接続環境が全国で最下位だったものですから、急速に改善をしているということ、西東京市でも積極的に取り組まれていることがわかりました。各教室でパソコンを使うとき問題なのが、先生の情報教育に関するスキルアップですが、それは研修会を受けているということでもよろしいでしょうか。

小此木校長

教員の研修については教育情報センターで毎年夏に実施していただいておりますので、先生方にも行ってもらっています。各学校掲示板でいろいろな資料や情報を載せることができますので、それを利用しようとする先生方もいるようです。

吉井委員

もう、ほとんどの先生は授業の中でパソコンを使えるようになっているのでしょうか。

小此木校長

本校では毎週どんな授業をするのか予定表を提出するようにしていますが、その予定表がエクセル形式なので、エクセルが使えないと作成できません。赴任してきてエクセルを全くできない先生も、エクセルをやらざるを得ない状況にあるとどんどん覚えます。

三宅会長

そういう環境ですと、学校の中にファイルサーバやコンテンツマネジメントシステムがあるのでしょうか。

小此木校長

そういうものは設置しておりません。起案は全て紙ベースで決裁は押印でしています。

片瀬委員

決裁は紙でもいいと思いますが、ただ見るだけの書類でしたら先生方だけでも個人のメールアドレスを学校の中だけでも可能にして、電子化された書類で見れるようにしていただきたいですね。

小此木校長

本当はデータサーバに保存してもらって、そこから授業の予定表をデータで見ることができればいいのですが。最終的に私の押印による決裁が必要ですし市教委からもそう指導されておりますので、それは外せないということです。

片瀬委員

決裁については紙ベースでも構わないと思いますが、是非効率化していただきたいですね。

吉井委員

せっかく学校の中で環境整備されているのでお聞きしますが、住民の方に対して学校の図書室や会議室を公開していると思いますが、そのときにパソコンも使えるようにする措置は考えていらっしゃるのでしょうか。

高田教育情報センター長

例えばパソコン教室も地域のNPOの方が使えるようにするというのでしょうか。

吉井委員

はい。

佐野主任

たとえばインターネットだけを使わせるということであれば、セキュリティの問題さえクリアすれば使えるという考えです。ただ、ワードやエクセルのこととなりますと、ライセンスの問題が出てきますので、使うことは難しいと思います。そして回線も自由に使いたいということもセキュリティポリシー上は自由に接続できなくなっております。いずれにしても難しいですね。

- N T T 武蔵野研究開発センタ内の視察 -

三宅会長

本日は視察などございましたので、時間の関係上、会議自体が短い時間となりますが、どうぞ協力ください。まず、前回の会議録の確認を行います。事務局から説明をお願いします。

事務局（保谷情報推進課長補佐）

お手元に先月行われた第6回会議録をお渡ししました。これは皆様の修正意見に基づき修正したものとなっております。ご確認をいただき、訂正がなければ確定版とさせていただきます。

三宅会長

ご意見等ないようなので、第6回会議録は確定版といたします。それではこれより、芝久保小学校とN T T 武蔵野研究開発センタの視察について、簡単に各委員からご感想等をいただきたいと思います。

石田委員

防災情報伝達制御システムについてお伺いします。今、携帯電話にメール配信を実施していらっしゃるということですが、例えばDoCoMoショップから配信されるようになっているのでしょうか。どんなメッセージで配信されるのでしょうか。

三宅会長

聞いた話によると、メールがきた時に緊急だと判断して、通常は着信音でわかるようにするものを、この場合は緊急音が鳴るようにできていると思います。私の記憶だと特殊な反応をすることになるので、機種が限定されていたと思います。詳しい内容は担当者に聞いて、次回回答できるようにしておきます。この前紹介のあった警視庁のメール配信は、普通のメールで対応しているようです。

石田委員

警視庁のメール配信は携帯電話だけでしたでしょうか。

事務局（坂本情報推進課長）

パソコンにも配信されます。メールアドレスを登録しておくで配信される仕組みです。

饗場委員

芝久保小学校のことですが、校長先生はメールアドレスを持ちたいとおっしゃっていましたが、どうしてメールアドレスが持てないのでしょうか。

三宅会長

校長先生がアドレスが欲しいとおっしゃっているのは、先生としてのアドレスだと思います。そうすると、ドメインをどういう単位にするか決まっていないのではないのでしょうか。

饗場委員

数をいくつか持てるというのは今のシステム上ありますが、そんなに高くないと思います。

事務局（坂本情報推進課長）

先日私が聞いた範囲では、一番問題なのはアドレスを管理することだそうです。教員の異動で毎年4月に結構な人数が対象になるので煩雑になってしまうということです。教員は東京都の職員なので、もちろん市内で異動する方もいらっしゃいますが、都内で出入りが激しいと聞いています。その関係がありまして、難しいというよりは作業が大変になってしまうということです。

三宅会長

例えば、市立小学校の場合でも教員の方は区立小学校に異動するようなこともあるのでしょうか。

事務局（坂本情報推進課長）

学校は西東京市立とはなっていますが、校長先生以下、先生は全て東京都の職員なので異動の場合は行政区域を越えてしまいます。東京都の職員なので、東京都が一斉に配下の教員にアドレスをつけていただければ有難いのですが、市がアドレスをつけるとなると、先生が市外に異動した場合、そのメールはどう扱うのかという問題も出てきます。今の制度の中ではこういう問題はかなり扱うのが大変だと聞いています。このことだけではなく、他にも何か課題はあるとは思いますが。

三宅会長

技術的に言うと、メールサーバを独自に用意して東京都下全域の先生方に個人のメールアドレスを与えれば、どこに異動しても同じアドレスで使えますよね。

吉井委員

厳密に言うと都立学校は、校長・副校長・主幹までは個人端末を持っていて、その他の先生は持っていないという状況でした。今年度からは我々職員が使っているものと同じ端末を使いアドレスも付与しております。ただ、あまりにも人数が多いので、メールサーバに関する管理は別に切り分けをしています。それがさらに小中学校を含めて考えると何倍にも膨れ上がるので、管理がかなり大変ですしそれを支えるだけのシステムは現状を考えると難しいですね。

三宅会長

例えば、一般で言うGmailやフリーソフトで簡単にできそうな気がしますがいかがでしょうか。組織内のメールの管理の難しさはわかりますが利便性を考えると実施していただきたい。確かにメールだけではなく、芝久保小学校では、授業計画をエクセルで作成して紙ベースで提出していたようですが、基本的には個人の端末から資料を作成し印刷して校長先生に提出するという段取りでしょう。ですが、そういうことも実際はファイルサーバにアップロードしておけば、校長先生が見られます。もっと言うと最近グループウェアなどいいものがありますから、全部一括で管理することができれば、先生の業務も随分軽くなる気がします。ただしどういう単位で導入していくかは、西東京市だけではなく、関連するところはかなりあるので検討が必要だと思います。

尾藤委員

芝久保小学校で校長先生のご説明の中に、保護者による情報提供が結構あるということでしたが、考え方によると地域情報化計画策定審議会のテーマである市民参画の一つだと思います。関心があるから情報提供をし始めることもありますし、校長先生なり先生達が見える部分で対応してくれるから情報提供するというのもあると思います。例えば安全情報のことと言うと、警視庁の不審者情報にお母さんたちが情報提供するかということ、やはり提供しづらいのではないのでしょうか。これは市民参画というもののヒントに当たるのではないかと思います。そして、NTT研究開発センターで見せていただいたシステムの中

に、データをやりとりしなくても情報が流れるようになるというところがありました。プライバシーの問題もあると思いますが、自分から情報発信はしていないけれど安心安全という観点から、問題を分析するツールとなるもののように思います。積極的に参加しますという態度を示さなくても市民参画の一つとして役立てたりもできるような気がします。

三宅会長

帰宅ルートの特定というのは、厳密ですね。このようなことは、他でも実施しているのでしょうか。やはり、芝久保小学校独自のものなのでしょうね。ああいうノウハウが広がればいいですね。

石田委員

下校経路は、たぶん寄り道やそのまま学習塾に行くことなど、度外視したデータですね。中にはそのまま寄り道することもありえますから、100%完成されたものでもないでしょうね。

吉井委員

子どもたちの安全で言うと最先端なことを実施しているのは、私立学校ですね。GPS携帯を持たせて何時何分何秒にここを通ったというデータを取って、何かあればすぐに保護者に連絡するシステムを利用しているところもあります。

三宅会長

今日、校長先生がおっしゃっていたように携帯電話持っているかどうかの調査すら難しいということでしたからね。確かに私立ならできることですが、公立は難しいでしょうね。

事務局（坂本情報推進課長）

さきほどおっしゃっていた通学路のマップについては、比較的児童が多く通る地点は重点的にパトロールするようにはしているようです。安心安全の面から言うと地域で見守るときに網羅的に見られればいいのですが、なかなかそうもいかないときにパトロールの重点地域を設定する材料になるということでした。逆に言うと、数人しか通らない通学路はもしかしたら人通りが少ないということでパトロールすることも考えているようです。

饗場委員

地域住民の協力ということを校長先生がおっしゃっていましたが、現在下校時に防災無線を使って「これから帰るので地域の皆さん、見守ってください。」と呼びかけていますが、このこともやはり市民の意識を高め、一つの安心安全に繋がっていると思います。

吉井委員

私共の検討する地域情報化計画の特徴や地域のことを考えるときに、本日NTT武蔵野研究開発センターを見させていただいたので、こちらのNTTさんとコラボレートする施策を考えられればと思います。

事務局（尾崎企画部長）

情報化だけでなく、産と学と公の連携ということが課題になっています。現在、大学との連携はあるのですが、産業のほうはというと市内に企業がなかなかないので、情報化を考える上でもNTTさんのほうともこちらから考えをまとめ、方向性を拡大していく必要があると思っております。

一つ先ほどの感想ですが、単身のお年寄りが市内にも増えていっているのが現状で、見守りをどうしていこうかと民生委員さんも市の職員でも問題として取り上げているところ

です。やはり、戸別訪問をしてもプライバシーを盾に安否確認がとれないこともありうるわけです。そういったことを考えると、先ほどの点でももちろん個人情報を配慮した上で定期的にチェックしていくことになるかと思えます。お年寄りで一人生活ですと、人と接して話ができるだけで安心できることや、外出したくてもできないという方にとって有効なツールになるかと思えます。

三宅会長

そういう独居老人の方への介護サービスのようなものを市でお考えなのでしょうか。

事務局（坂本情報推進課長）

独居老人向けのサービス自体は今でも実施されています。例えば体が不自由な方であれば、介護保険のサービスもあります。担当者が定期的に訪問もしますが一人が相当数のお年寄りを担当することになりますので、月一だったり2カ月に一回となると次に行ったらもしかしたらお亡くなりになっていたということも考えられます。こういうことを考えると独居老人の方は通報してくれる人がなかなかいませんので、元気で生活しているという合図としてボタンを押すとかだけでも有効ではないのかと思えます。

三宅会長

親を田舎に置いて出てきている方もいますので、このことは西東京市だけに限った問題ではないですね。今は独居老人が結構増えてきているのでしょうか。

事務局（尾崎企画部長）

人数としては把握しておりませんが、常に議会等で関心を持たれております。

事務局（坂本情報推進課長）

寝たきりではなく、元気なお年寄りで一人暮らしという方も相当いらっしゃいますから、平均寿命が上がってきてどちらか連れ合いの方が亡くなると、寿命が延びている分だけ一人暮らしになる期間が長くなることや、独りになる可能性もあることから、体の問題ではなく、元気であってもある日何が起こるかわからないという不安をもたれていることもあります。

三宅会長

実は、技術的にはいろいろなことをやっていますが、それが本当に使えるかどうかについては理想と現実のギャップがあります。パソコンなんてとんでもない話で、電話機のように簡単でないと使えません。やはり、こういう問題はお年寄りと子どもの話が中心になってきますね。

石田委員

最初の審議会の頃には、「高齢者向けパソコン操作の講習会」などを考えていたのですが、最近はパソコンではなく、初期費用も安い携帯電話のほうが利用しやすいのではないかと思うようになりました。携帯電話メールが使えると、遠隔地に置いてきているお年寄りとの連絡がインターネットより便利なのではないかと思っております。携帯電話も今は、お年寄りでも簡単に使えるような機種が出ていますが、操作のちょっとしたことで聞きたいとお店に行っても1時間も2時間も待つようになるので、マンパワーが足りないのではないかと感じました。お年寄り向けに簡単な指導教室のようなものを携帯電話会社で実施していただければ、パソコンよりも汎用性があるって便利なのではないかと思いました。

三宅会長

実際には、簡単な携帯電話を持っていて、ボタン一つ押せば繋がるとはとっても大分個

人差があって、使わないお年寄りも多いですね。

石田委員

初期の段階で、ちょっとしたきっかけさえあればスムーズに使えるようになるような気がします。携帯電話ですから、いつもそばにあり、簡単に手にできるので、パソコンよりいいと思います。

三宅会長

それでは、今日分も含めて各委員から意見を出していただくこととしておりますので、事務局にメールで提出をお願いします。

以上で本日の会議を閉会とします。